

わがまち 東本町

発行 北方東本町町内会

回覧

発行日 令和7年10月20日

矢吹嘉男さん市長表彰受ける 2025介護予防フェスティバルにて

10月16日（木曜日）岡山市主催の2025介護予防フェスティバルが岡山創造劇場ハレノワ大劇場で開催され、岡山市がフレイル予防のために展開している「あっ晴れ！もも太郎体操」を行って95歳以上の高齢者の表彰が有りました。

当町内会も「茶話会」の中で「あっ晴れ！もも太郎体操」を実践しています。

受賞者は21名うち、当日7名の方が出席されましたが、矢吹嘉男さん97歳が最高齢者で、大森市長も矢吹さんの元気な姿と年齢を聞いて驚きと同時に大絶賛されました。

10月17日山陽新聞記事

受賞者と市長記念撮影

表彰を受けた21人のうち7人が出席。大森雅夫市長が「生きいく上で健康は重要なこと。これからも体操をやっていっていただきたい」と述べ、矢吹嘉男さん（97）＝北区北方＝

健康寿命の延伸につなげようと岡山市と市ふれあい介護予防センターは16日、「介護予防フェスティバル」を開き、市が普及を図る介護予防体操「あっ晴れ！もも太郎体操」を実践する95歳以上の高齢者を表彰した。



渡される高齢者
（洞井宏太）

大森市長（左）
から賞状を手
渡された。

0人が参加
した。

や介護予防をテーマにした講演会もあった。イベントは、市が独自に定めるフレイル（虚弱）予防強化月間（9月21日から1ヶ月）間に合わせて実施しており3回目。市内の高齢者や福祉施設関係者ら約620人が参加した。

体操実践 高齢者を表彰

岡山市など 介護予防フェス



受賞後インタビューを受ける



受賞後のインタビューで「長生きの秘訣は？」と聞かれた矢吹さんは「晩酌と言いたい所ですが、今は生かされてと思ってる、110歳9か月まで生きた母の力、広島で被爆しながら命が助かった事、お宮・町内の世話をしてる事、家族、友人、近所の人などにはお世話になりながら日々生かされてると感じています。」